



現代子ども学講座

子どもたちとの関わり方を知る

総合子ども学研究所では、年に2回、学外の研究者や実戦家をお招きしてお話を伺う公開講座を開催しています。

今年度は教育者・保育者としての意識づくり、技能の向上を意図して2つの講座を企画しました。

第20回 2019年5月18日(土) 13:10～

テーマ：子どもっておもしろい！保育はいい仕事

講師：柴田 愛子先生
(保育施設「りんごの木 子どもクラブ」代表)



実例をたくさん挙げていただき、子どもたちがどう思っているのか、保育者としてどういう位置に立ち、どう関わっていくべきなのかを、仕事としての保育の魅力と共に熱くお話しいただきました。

第21回 2019年11月16日(土) 13:10～

テーマ：心と体を育てるリズムジャンプ

講師：津田 幸保先生
(美作大学准教授)



「リズムジャンプ」が子どもたちの力を伸ばすとても大切なものであることを話していただき、参加者と一緒にリズムジャンプを実演していただきました。



映画上映会



本学の学園祭である「敬愛フェスタ」において、毎年一般の方々をお招きして映画の上映を行っています。

今年度は、夜間保育の現場をドキュメンタリーで表した「夜間もやってる保育園」を2019年10月27日(日) 13:00～上映いたしました。

本映画は、様々な事情を抱え、夜間保育園に通う子ども、預ける親、そして保育士たちの姿をドキュメンタリーで描いた作品です。観ていただいた方から「夜間に預けている親や保育園の見方が変わりました。」「夜間保育園を今まで知らなかったの、知ることができてよかったです。」などの感想が寄せられました。



図書係の受賞



2019年11月12日(火)～14日(木)に横浜市のパシフィコ横浜で開催された「第21回 図書館総合展」のポスターセッションに図書係が参加しました。発表の結果、図書係発足から2年間の歩みを「7つの挑戦」とし「人を通して本を知る」をテーマとした内容が評価され、「日本事務器」賞という出展企業からの特別賞をいただきました。100以上もあるポスターセッション参加団体中、10団体が受賞した特別賞のうちの一つとなりました。後日、日本事務機器株式会社の方が来校され本学「えほんのもり」にて授賞式が行われました。

なお、本件は日本事務機器株式会社のHPでも紹介されています。



— 教育・保育の敬愛 —

千葉敬愛短期大学

総合子ども学研究所 ニュースレター Vol. 8

本研究所は、「子ども」を様々な視点から、学問的・実践的見地に基づいて研究し、本学の教育の充実発展を図ると共に、地域の教育・保育に寄与することを目的として設置されました。



高大連携

高大接続教育の推進・拡充・発展

総合子ども学研究所は、2009年に発足し、教育・保育に関する研究と実践、地域貢献を目標として運営されてきました。高等学校との連携協力は、本学が目指す「ほんものの先生」を育成し、地域に貢献する人材として送り出すという意味からも重要です。また、千葉県では福

祉教養科、看護科、福祉コース、教員基礎コース、保育コースといった、職業選択にかかわる学科・コースの編成も始まっており、本学の教育資源を、広く次世代に提供することも、重要な使命と考えています。

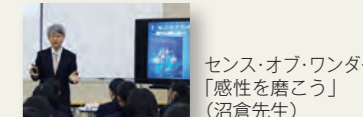
2019年度は以下の活動を行いました。

出前講座・教育支援

- ① 安房高校、我孫子高校、君津高校、館山総合高校、浦安高校 8講座
- ② 館山総合高校 SPH 運営指導委員会 3名
- ③ 浦安高校探求ゼミ(10回) 1名
- ④ 成田北高校インターンシッププレ講座
- ⑤ 四道北高校1学年集会「表現活動でコミュニケーション(音楽・身体)」
- ⑥ 開かれた学校づくり委員会 教職員派遣2名(4校)
- ⑦ 県立高校第三者委員会 外部委員1名(1校)
- ⑧ 成田国際高校 SGH 学習成果発表会 講師1名



音楽表現・身体表現 楽しくコミュニケーションを(岡崎・村瀬先生 四街道北高校)



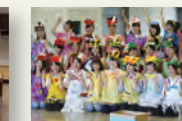
センス・オブ・ワンダー「感性を磨こう」(沼倉先生)

本学での特別講座

- ① 館山総合高校家政科(6月)
- ② 高校生セミナーⅠ(6月)、高校生セミナーⅡ(8月)
- ③ 柏中央高校インターンシッププレ講座(11月)
- ④ ワークショップ(11月)「敬天愛人」絵本・こころ・ことば
- ⑤ 大学体験授業(12月)音楽表現(保育・幼児教育における楽器遊び)
- ⑥ ワークショップ(2月)「オペレッタ～保育で役立つ創作活動～」



手袋人形 作ってあそぼ! (大野先生)



オペレッタ「むしむしロックンパーティ」(岡崎先生)

連携校・協力校との情報交換会

2020年1月30日 12校参加

連携協定校・協力校情報交換会：各高校の教育実践を敬愛大学・千葉敬愛短期大学と共有しました。



総合子ども学研究所 ニュースレター Vol. 8

発行日：2020年4月1日
<http://www.chibakeiai.ac.jp>

〒285-8567 千葉県佐倉市山王1-9
TEL. 043-486-7111 (代表)

敬天愛人

本学は「敬天愛人」を建学の精神として掲げる全国でただひとつの学園。教育者にふさわしい人間性の陶冶を目指しています。



小学生対象の地域貢献

佐倉市好学チャレンジ教室（ボランティア活動）

好学チャレンジ教室は、基礎・基本の確実な定着や自ら学び自ら考える力などの育成を図り、一人一人の児童に確かな学力を育むことを目的として、2014年度より実施されています。

令和元年度佐倉市好学チャレンジ教室は、7月25日（木）、26日（金）、29日（月）の3日間、本学を会場に実施されました。佐倉市立山王小学校の2年生、3年生の計18名が参加し、本学の初等コースの学生8名が

学習支援のボランティアに従事いたしました。参加学生と子どもからの感想の一部を紹介します。

参加学生からの感想

子どもたちの勉強をただ見て教えるのではなく、どうしたら分かりやすくなるのか、また、一人一人に合った教え方を試行錯誤するのは、すごく難しかったのですが、とても良い経験になり、私自身の学びも多かったです。

子どもからの感想

丁寧に教えてくれたので、苦手な教科ができるようになりました。楽しく勉強ができてよかったです。ありがとうございました。



通学合宿

子どもたちの「生きる力」を育む

通学合宿は、2001年より佐倉市教育委員会、佐倉市中央公民館、八街市教育委員会の依頼を受け実施しており、今年度は、初等教育科の1年生、2年生、敬愛大学の1年生、延べ22名の学生が3回の通学合宿に参加しました。児童の活動を支えるとともに、学生もまた大学の授業では経験することの出来ない貴重な取り組みです。



参加学生が感じた合宿前後での自分の変化の一部を紹介します

子どもたちと接する中で、感動することが多かった。子どもたちはとても素直だった。しかし、その分、子どもたちは自分の鏡となることがわかった。自分の行動の影響を感じた。自覚と畏れをもって行動したい。

1. 八街市教育委員会主催「通学合宿」

(1) 実施期間：6月16日（日）～19日（水）（3泊4日）

2. 佐倉市教育委員会主催「通学合宿」「チャレンジ通学合宿」

(1) 実施期間：9月23日（月）～26日（木）（3泊4日）

(2) 実施期間：10月6日（日）～9日（水）（3泊4日）

八街市において9月24日～9月27日の日程で予定しておりました通学合宿は、台風15号の影響により千葉県全体で多大な被害が発生したため中止となりました。

出前講座お受けいたします。

連絡先：043-486-7111 千葉敬愛短期大学

対象：中・高校生、保護者 / テーマ・内容をご相談ください。
また、出前講座用パンフレットがございますのでご請求ください。

- ※ 教育・保育、心理、児童文化、音楽表現、身体表現、道徳、キャリアガイダンスなど要望に応じて検討、実施しています。また、保護者対象の子育て支援、進路講話も実施します。
- ※ これまでの実績：初等教育、幼児教育、保育、音楽表現、身体表現、手作りおもちゃ、心理学入門、グループエンカウンター、絵本の読み聞かせ、道徳、国語、理科実験教室など

※製作物協力：本学教授 大野雄子先生
梶原瑞希さん、加藤麻衣さん、仲村奈央さん、坂本菜々美さん、
小林結雲さん、島村莉音さん、大木杏樹さん、南井麻希さん



夏休み子ども向け公開講座

異年齢との交流の場

今年度で14回目となる「夏休み子ども向け公開講座」(佐倉市委託事業)は、8月5日(月)から8日(木)の4日間で、延べ192名の参加者をむかえ、8講座を実施することができました。佐倉市内の小学3年生から6年生までの参加者が、各講座の課題に挑戦しました。その中には、本学の教員や学生だけでなく、連携校の高校生もリーダーの短大生とともにグループ活動を展開しました。

参加した小学生からは、「高校生や短大のお姉さん・お兄さんと一緒に話せて楽しかった」という声や「他の学校の友達と話せた」という感想をいただきました。高校生からは、「積極的に話しかけてくる子、人見知りの子、様々な個性の子どもたちにどのようにかかわるかとても勉強になった」や「小学生がみな意欲的に取り組んでいることに感心した」という感想が寄せられました。

個人の学習や体験だけでなく、他校の仲間、高校生や短大生という異年齢との交流の機会があるということも重要です。



理科II：回る理由がわかるモーター



工作：手作りランプシェード



理科I：科学の実験って楽しい！



音楽：ペットボトルで手作り楽器



国語：「文章の達人」になろう！
読書感想文



体育：体を使って遊ぼう！
運動遊び、表現遊び



図工：ポスターや風景画等の制作



英語：ハリーポッターの世界を英語で体感！！



地域貢献

コミュニティカレッジさくら

佐倉市の住民の皆様を対象にした教育活動「コミュニティカレッジさくら」(2年制)に本学から現職・元職の教員を講師として派遣しています。

今年度は1年生を対象に右のようなテーマで8回講義が開講されました。加えて、2年生の実践発表会(8/25)には吉村真理子教授が、1、2年生合同の研究発表会(2/15)には明石要一学長が参加しました。

また、講座を持とうと考えている市民の方々を対象にした講座(講師塾)もあり、こちらにも講師を派遣いたしました。

月日	講義テーマ	派遣講師
5/18	記念講演「地域で学び、地域で生きる」	明石 要一
5/31	よりよいコミュニケーションとは ～グループエンカウンター体験～	吉村 真理子
5/31	地域のリーダーになるために ～地域の人の意見をまとめるには～	清水 一己
7/5	よりよく「聴く」ことへの「責任」 ～守秘義務と個人情報の扱い・傾聴技術の習得～	大野 雄子
7/5	よりよいコミュニケーションとは ～アサーション・トレーニングとDESC法体験～	大野 雄子
8/30	異年齢社会の構造と課題 ～小・中学生が抱えているもの～	鈴木 健一
12/6	家庭・家族と地域の社会的役割 ～青少年を取り巻く現代社会の環境～	新田 司
12/20	身近な人権 ～ひとを人として認める地域とは？～	松本 峰雄

